

児童通所支援事業所 あいらいん
児童発達支援 事業所自己評価表(公表)

公表：令和2年2月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・子どもの数によって適切じゃない時もある。 ・利用定員に対して基本的なスペースは適切であると思われる。しかし、状況に応じて必要となる場面を考えてスペースは検討の必要があると思われる。	・児童数及び職員数が多くなるとスペースが狭く感じてしまうこともあると思われます。活動に応じて、必要なスペースを確保することや、他の場所を確保する必要もあると考えられます。今後も検討を重ねていきたいと思います。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		・基本配置以上の職員配置を行うことができている。しかし、休みが重なってしまった時には、足りないと感じる時もある。	・利用定員10名に対して、最大で7名の職員が配置されます。配置上では適切以上の人員がおります。しかし、複数で休みが重なることもあるため、最小限の職員配置での対応も含めて考えていく必要はあると思われます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・なされてはいるが、まだ改善の余地はあると考える。 ・クールダウンする、静かな落ち着いた部屋が欲しい。 ・事業所として、ある程度できていると思われるが、特性に応じた構造化は足りない部分もあると感じる。	・事務所内が見えてしまう為、プレイルーム側から見えないような工夫が必要。(目隠しなどを検討) ・入り口内側にカーテンがあることで、児童が遊んでしまうことがある。カーテンの場所を変えることが出来ないか検討。 ・イベント(行事等)での飾り付けが児童の集中力を阻害してしまうことはないか、飾り付けを行う前に話し合いを行う必要がある。 ・洗面台の広さ等、子ども達が使う場所や物の検討が必要なのではないか。 今後、職員会議等で話し合い、一つずつ解決することができるように努めます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・クールダウンの部屋がない。 ・毎日、清掃を行い、心地よく過ごせるように努めている。	・清潔に保つよう心掛けているが、棚の上など、物品が散乱している時も見られているため、一つ一つ整理整頓に努める。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	・業務改善に取り組むことができるように、ミーティングなどで話し合いを行うようにしている。	・業務改善に取り組むためにミーティング等、話し合う時間はあると思われるため、話し合いができる時間帯にいる職員で話し合い、話し合った内容を全体ミーティング等で周知、確認を行っていくように努めます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・実施するまでに至っていない。 ・保護者向け評価を行い、職員で話し合い、業務改善につなげることができるように努めている。	・毎年、評価を行い、少しずつ改善することができるように努めています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・実施するまでに至っていない。 ・HP(ホームページ)未整備。 ・公開に向けて作成中。 ・ホームページ作成中の為、現時点では、保護者配布及び事業所掲示にて公開している。	・現在、保護者への配布及び事業所内での掲示を行っていますが、来年度にはホームページを開設し、情報の公開ができるようにしていく予定です。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務		○	・第三者? ・第三者の外部評価は行っていない、今後第三者による外部評	・現在、第三者による外部評価はできていないため、今後検討を重ね、

☺	改善につなげている		☺	「はい。では、ホームページにも外部評価を実施していく必要があると思う。」 外部評価も行っていくことができるように努めます。
---	-----------	--	---	--

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、各研修があるときに、全職員へ伝達し、参加の促しを行うとともに、研修によっては管理者より参加するように伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の機会が多いと思われる。どの職員でも積極的に研修に参加し、質の向上が図れるように努めます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・就学前の児の予定はある。 ・アセスメントを行い、支援計画の作成を行っているが、ニーズや課題に合った活動になっていない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを行い、細かなニーズや課題を分析し、支援計画の作成を行うことができるように、保護者との面談の回数等を増やしていくように努めます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・少し前は、遠城寺でアセスメントをしていたが、現状はしていない。利用開始時、必要に応じてしている。 ・以前は行っていたが、最近では私用していない。 ・利用に際して、KIDSを用いて、現状の児童の状態を把握することができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・KIDSを用いて、定期的にアセスメントを作成し、見直しが行うことができるよう努めます。また、モニタリングを早めに設定し、保護者からの聞き取りを行い、ニーズや課題を客観的に分析していくように努めます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・計画作成に伴い、ガイドラインに沿って作成しており、支援内容を設定しているが、もっと具体的に作成することも可能なのではないかと考えらる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに沿った項目選択等出来ているが、もっと具体的な支援内容にしていけるように努めます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・どちらともいえない ・活動内容に全く計画性は感じられないので変えていく。 ・支援計画に沿った支援であるか検討の余地がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での支援会議を増やし、支援計画に沿った支援ができるようにしていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・どちらともいえない。 ・特定の職員が中心ではあるが、一応全員が関与している。 ・現在は行っている。 ・一部の人でチームを作っている時もある。 ・活動プログラムを立案するために、毎週ミーティングを行うことができるよう時間を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、事前に話し合いを行い、活動プログラムの立案を全員で行うようになっているため、継続していきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・もっと工夫は必要であると思う。 ・固定化しないよう考えられているが、もっといろいろな職員の意見が増えれば、工夫も広がっていくのではないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、固定化しないように全員で話し合いを行うことができている。継続するとともに、もっといろいろな意見を取り入れて工夫ができるように努めます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動(個別支援)は、現状行われていない。 ・個別活動を行うと職員が足りなくなる。 ・集団活動を行う中で、個別に対応が必要な場面に応じて、職員が対応している。計画の内容に含めることができているように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての利用児童に対しては、難しいが、必要なほうに対しては、職員間で話し合いを設け、支援計画に個別活動を設定することができるように努めます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・その日の内容にもよる。 ・朝礼時、説明をしたり、プログラムの掲示はしてあるが、不十分だと思う。 ・必ずというわけではない。これが重要と思われる。初日つまづかないように準備を要する。 ・ある程度は行われている。 ・朝礼時にその日の支援の内容等、簡単に説明はしているが、細かな打ち合わせはできていないと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず当日又は、前日に打ち合わせを行い、必要に応じて役割分担等を話し合うことができるように努めます。

ご感しる。

適切な支援の提供	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○		・毎日、支援終了後、振り返りを行い、気づいた点や良かった点等話し合うことができています。	・毎日の振り返りができているため、継続し、改善点を踏まえて次の活動に取り組むように努めます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・活かしている時もあれば、出来ていないこともある。その一つとして、活動があれもこれもと定まっておらず、次の段階ができていない。 ・行ってはいるが、特定の職員のみが行っていると感じる。 ・記録を取ることはできているが、検証や改善につながっている内容は少ないと思う。	・日々の記録は取ることを徹底することができているが、検証・改善につなげることができるよう、話し合いや支援会議をもっと行うことができるように努めます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・モニタリングは行っているが、定期的に出来ているか考える必要がある。支援計画の見直しは行っている。	・モニタリングの定期化(3ヶ月に1回等)や保護者面談を増やし、見直しの必要性をしっかりと判断していくよう努めます。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・できれば、活動提供者もいれば、尚良いかと思われる。 ・担当者会議への参加は、管理者又は、児童発達支援管理責任者が参加することが多く、もっと直接支援を行う職員も参加する必要があると思う。	・現在、管理者や児童発達管理責任者だけが参加しているが、直接支援を行っている職員も参加することができるように検討を重ねていきます。
	㉒	母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・今、少しずつできてはいる。 ・必要があれば連携していると思われる。 ・保健士などは連携を図っているが、全ての児童ではないため、もっと密に出来ればと考えている。	・もっと密に連携が図れるように努めています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・主に家族(保護者)を通じて。 ・必要時は連携していると思われる。 ・直接、連携を取るのではなく、保護者を介して連携を図っている状態である。	・医療ケアが必要な児童の主治医一覧等を作成し、全職員が把握することができるように努めます。また、保護者を介しての情報共有は継続していきます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子供の主治医や協力医療機関等と連携体制を整えている	○		・協力医療機関の医師が月に1回来所する等。 ・実際は行っていないが保護者を通じて行っていると思われる。 ・主治医との連携は、取れておらず、保護者を介して情報伝達を行っている。協力医療機関(囃託医)との連携は図っている。	・医療ケアが必要な児童の主治医一覧等を作成し、全職員が把握することができるように努めます。また、保護者を介しての情報共有は継続していきます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・今後、(就学児)利用する場で共有できていければと思う。 ・送迎時はあまり時間が十分に取れないことが多い。モニタリングは、園によって参加に差がある。 ・行っている。 ・園によって差はあるが、比較的情報共有と相互理解はできていると思われる。	・利用開始前から事前に担当者会議やモニタリング等を通じて、移行時に必要な情報を共有することができるように努めます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・今後、(就学児)利用する場で共有できていければと思う。 ・行っている。 ・必要に応じて、就学前に相談支援を介して、移行会議を行うようお願いしている。	・今後は、全ての児童の移行支援を行っていくことができるように努めます。
					・相互に見学などを行っている。	

②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの際に行っている。 ・児童発達支援センターや他事業所など、グループ会議やモニタリングなどを介し、いろいろな話ができるようになってきていると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学や研修、助言等、いろいろな場面で連携を行っている。今後も継続していきます。
----	--	---	--	--

関係機関や保護者との連携	⑳	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の無い子ども達との交流はしていない。 ・現状、障害のない子どもと活動する機会は設けることができていない。今後、検討が必要である。 	・障害のない子ども達との交流はないため、今後検討を重ねていきます。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない。 ・子ども部会の下部として、グループ会議に参加している。 	・協議会の傍聴等ができる機会もあるため、もっと積極的に参加していきます。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・今の状況をうつすらとは思っていると思うが、しっかりとみんなが把握していた方が良いと思われる。(提示する場やすぐに見れる工夫が必要) ・連絡帳や送迎時に行っている。 ・連絡帳を利用したり、TEL、送迎時に必要なことは共通理解している。 ・連絡帳のみのやり取りはあるが、保護者から全く記入のない場合もある。 ・保護者によってまちまちではあるが、日ごろの状況を連絡帳や電話、送迎時等伝えるようにしている。また、モニタリングで共通理解を深めるように努めている。 	・連絡帳への記載はしているが、保護者が確認してくださっているのか分からないこともあるため、保護者確認印等の欄を作成する必要があるのではないかと話し合いの結果、連絡帳の内容の見直しを行います。また、保護者によって連絡帳への記載がまちまちである為、定期的な面談を行い、お互いに情報共有や共通理解を図ります。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつはできているが、全体まではまだ…。 ・連絡帳や送迎時に伝達しているが、プログラムと呼べるほどのものになっていない。 ・ペアレントトレーニングとまではいかないが、気になる事や保護者の困りごとの相談、支援方法を伝えている。 ・ペアレントトレーニングができる職員がいるのか疑問である。 ・保護者に対して、ペアレントトレーニングはできていない。支援方法など、その都度、話をすることはあるが、具体的なアドバイスができていないか、疑問である。 	・ペアレントトレーニングの外部研修へ参加し、しっかりとペアレントトレーニングができるように、事業所内研修も行っていく予定です。
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・利用契約時、出来る限り丁寧な説明を心掛けている。 	・利用契約時に丁寧な説明が行うよう継続していきます。
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画の内容の説明を行い、同意を得るようにしているが、ガイドラインを示しながら説明をすることができていないように感じる。 	・支援計画の内容の説明を行い、同意を得ていますが、ガイドラインの詳しい説明もしていくように努めます。
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行っていないように感じる。 ・定期的(モニタリング時)又は、必要に応じて管理者及び職員が対応している。 ・定期的に行うことができていないが、相談がある時には応じている。 	・定期的に保護者の相談等に応じるために、面談を定期的の実施していきます。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない。 ・保護者会を開催している。 ・年に1度のみで良いのか…。 ・年1回保護者会を行っているが、もっと話をする場が欲しいとの意見も出ている。今後、検討が必要。 	・現在は、年に1回の保護者会を開催していますが、保護者からのご意見の中で、もっと話をする機会が増えると良いとのことであったため、今後、実施回数については検討を重ねていきます。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速か	○	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、出来てはいるので、いつでも対応できるよう、次入ったスタッフへも教えられるよう、マニュアルがあれば良いと思う。 	・面談を含め、相談等の申し入れがあった際の対応マニュアル等を作成し、迅速かつ適切に対応することが

つ適切に対応している

・分からない。
・管理者が対応している。

できるように準備していきます。

保護者への説明責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月に1度、会報(おたより)で知らせるが、間に合っていないのが現状。 ・不定期になっている。 ・月刊的(活動内容予定、リミック予定など)又、年に数回、おたよりを発行している。 ・以前よりもおたよりの回数は減っている。不定期になっている。もっと情報を発信する必要があると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度よりホームページを開設する予定です。おたよりは年4回の発行を行い、月々の活動予定等、ホームページにも掲載していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・おたより等でも注意している。 ・契約時、個人情報の取扱いについて説明を行っており、写真などについても使用する場合の了承を得ている場合のみ使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度よりホームページを開設するため、ホームページ上での個人情報の使用について保護者への確認を行っていきます。今後も継続して個人情報の取扱いにはより一層注意をしていきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・利用前に情報伝達(管理者より)あり。 ・時間をかけて話を聞くなど、配慮しているが、上手く意思の疎通や情報伝達ができているか疑問。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時やモニタリング、担当者会議、面談など、子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達等、こまめに行うことができるように努めます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・現在は行っていない。今後、近隣住民(お年寄りなど)との『ふれあい』があると良いのではないかと。 ・事業所の行事自体がほとんどないため、なかなか地域住民を招待する機会が作れていない。少しずつでも地域の人との関わりが持てるようになっていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の行事への地域住民の参加については、今後も検討を重ねていきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行っている物もあれば、出来ていないものもある。 ・インフルエンザ発生時期など、家族にも利用方法など通達している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、職員全員で見直しをしていく必要があると思われるため、随時、見直し訓練を行っていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども含めでは行っていない。 ・定期的に訓練は行っているが、職員のみ時間帯で行っている。子どもがいる時間帯で避難訓練を行う必要もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童を含めた訓練は、今後、職員全員で話し合いを行い、実施していくよう努めます。
	43	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・一部しか知っていない事もあるので、次入ってきた方への周知は必要。(マニュアル?のような、すぐ見られるような書類があったら便利?) ・リストは必要だと思う。 ・てんかん発作等、必要な情報は、契約時に確認を行っている。予防接種については、確認が取れていない時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートを実施したうえで、予防接種を行っているかの確認は検討していきます。持病や服薬、発作等については、今後も契約時に確認を継続して行います。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書はもらっていないが、事前に保護者に確認を行い、注意を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行のまま。必要に応じて、医師の指示書を提出していただくよう考えています。
						<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット(インシデント)報告

④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○ 書を書く習慣があまりない職員が多い。	告等の線引き等、職員会議等で話し合い、書く習慣を増やしていきます。
---	---------------------------	--	----------------------	-----------------------------------

非常時等の対応	④6	虐待を防止するため、職員の研修の機会を確保する等、適切な対応をしている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない。 ・権利擁護、虐待防止の外部研修を受け、事業所内研修を行い、確認を行い、対応をするようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修等に参加し、事業所内研修を行っているが、話し合ったうえで、研修回数等を増やしていくよう努めます。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、身体拘束を行うことがない。今後、どのような状況になったら行うことになるのか、事業所で細かく設定し、保護者への説明が行うことができるようにする必要はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の場合、どのような状況だと身体拘束に当たるのか話し合いを行い、支援の在り方の確認を図っていきます。